



初夏、早朝の定例行事 加茂川一斉清掃（6月5日）

主な内容

- 新しい加茂市史の四巻目が刊行・発売 ②③
- 第41回市民大学講座 …………… ④⑤
- 歯の健康「セルフケアの基本」…………… ⑥
- カメラスケッチ …………… ⑦
- 加茂の風土記「加茂郷近代の治水(1)」… ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育施設を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



加茂市史



資料編4 考古



御家庭の宝物として、全巻揃えられてはいかがでしょうか。

好評発売中

資料編 1	古代・中世	A5判変型	345ページ	定価 2,500円
資料編 2	近世	A5判変型	983ページ	定価 3,500円
資料編 3	近現代	A5判変型	1,001ページ	定価 3,500円
資料編 4	考古	B5判変型	783ページ	定価 3,500円

今後の刊行予定

資料編 5	民俗	A5判変型	約 1,100ページ
資料編 6	文化財	B5判変型	約 750ページ
通史編上巻		A5判変型	約 800ページ
通史編下巻		A5判変型	約 800ページ
地域の歴史編		A5判変型	約 800ページ

販売場所 加茂市役所社会教育課・市民課、市民サービスセンター（上町）
 市内各コミュニティセンター、図書館、民俗資料館、公民館
 みやげものセンター、加茂美人の湯、冬鳥越スキーガーデン
 問い合わせ 加茂市役所社会教育課（☎52-0080 内線 480）

新しい加茂市史の四巻目（資料編4考古）が刊行・発売されました。

このたび刊行・発売された加茂市史（資料編4考古）は、B5判変型七百八十三ページで三千五百円です。

内容は、化石、旧石器時代から中世の出土品、遺跡、遺構、城跡の詳細な資料を取り上げられます。また「加茂市遺跡地図（五万分の一）」も付録としてありますので、巻中に掲載されているものを地図でも見ることができるようになっています。

今後刊行される各巻とも、極力安い価格としていきたいと考えております。

これまで刊行されている加茂市史の「資料編1古代・中世」「資料編2近世」「資料編3近代」は、いずれも歴史的な資料によって裏付けられ、資料編を備えた加茂市の本格的な市史です。

新しい加茂市史は、九巻から成っており、今後刊行されるものは、「資料編5民俗」「資料編6文化財」「通史編上巻」「通史編下巻」「地域の歴史偏」の五巻です。

御家庭の宝物として、全巻揃えられてはいかがでしょうか。

これまで刊行された加茂市史も含め、次の場所で開催しております。

販売場所 市役所社会教育課・市民課、市民センター、市民サービスセンター（上町）、市内各コミュニティセンター、図書館、民俗資料館、公民館、みやげものセンター、加茂美人の湯、冬鳥越スキーガーデン

問い合わせ 加茂市役所社会教育課

（☎五二・〇〇八〇内線四八〇）



第1回「病を授かってみえたもの ～キャンサーギフトという生き方～」



フリーアナウンサー
伊勢みずほさん

講師自らが体験した乳がん治療と、そこから得られた考え方を紹介。乳がんは女性特有のものと思われがちですが、男性の罹患する例もあるそうです。「がん」も今は治せる病で、周囲に公表する人も増えてきた。性別、年代でそれぞれ悩みがあり、私の場合では、治療に伴う容姿の変化、仕事への影響などあった。しかし、周囲に相談し、支えてもらうことで、治療のほげみとなったことが実感できました。

第41回 市民大学講座

市民大学講座は昭和五十一年の新潟大学公開講座から始まり、今年で四十一年目を迎えました。毎回、各分野で活躍されている方々を講師にお招きし、講義をいただいています。各講座では体験談や研究のお話のほか、受講者からの質問にもていねいに答えていただきました。市民大学講座は「いきいき県民カレッジ」の登録講座にもなっており、知識見分を広める生涯学習の一つになっています。



第3回「最近の認知症診療について」



医療法人社団川瀬神経
内科クリニック理事長
川瀬康裕さん

四年前のデータで六十五歳以上の高齢者の七人に一人が認知症で、軽度の認知障害を加えると三〜四人に一人が認知機能低下をきたしている。認知症は、何もできなくなると思われているが、投薬、生活習慣改善により進行を遅らせることができます。脳は使えば委縮しないので、趣味を持ち、好きなことを継続して、物忘れは「あははあ」と笑い飛ばし、脳の活性化を図ることが大切です。

第2回「観光経営学部 ～地域に根ざした学びと使命～」



新潟経営大学教授
数下保弘さん

今年四月に新潟経営大学に観光経営学部が開設されました。県央エリアでは金属加工業を中心に工場見学が観光の商品として注目されています。そこで想定していない製品取引や後継者発見、社員の意識改革、現場環境の改善へとつながっています。これまで観光と結びつかなかった分野を紹介して、地域経済の歯車を連動させていけばと考えている。

第5回「笑って変えよう！ 『ころ』と『からだ』～笑いヨガ」



笑いヨガティーチャー
村山昭子さん

笑うこととストレス発散、免疫力向上などとの関係が研究されています。笑いヨガは、おもしろい話やユーモアを使わない「笑う健康体操」です。笑ったときの筋肉の動きとヨガの呼吸法を組み合わせ、にこやかな表情で「ハッハッハ」と声を出すことで、新鮮な酸素を取り入れ、体内を換気することが基本です。体操として継続的に笑うことで「笑い」を習慣化し、健康で笑顔のすてきな人になりましょう。

第4回「青海神社について」



青海神社宮司
古川 洸さん

京都とのつながりは、平安京遷都（七九四）のおり、青海神社の社領が京都の上賀茂神社と下賀茂神社の神領となったことから始まります。両神社の御分霊は、海路から新潟市の沼垂、信濃川から加茂川、そして石川に上陸したと伝えられています。「延喜式内社」とは、延喜五年から朝廷により編さんされた「神名帳」に記載されている神社ということです。神社には各時代の記録や伝承が残っています。

第8回「新潟湊と良寛」



良寛研究家
小島正芳さん

良寛の書は現在でも人気があり、神田の古書店で見つかったものには千五百万円の値がつきました。現在の新潟市中心部は江戸時代から栄え、富裕層には良寛を敬愛する人も多くいました。また、新潟市中央区の蒲原神社には「青海社」の額があり、加茂の青海神社との関係があると思われます。そうしたことから加茂近郷は新潟湊との行き来があり、そこから良寛の足跡も見られるものと思われます。

第7回「虐待を学ぶ～どう理解し対応したらよいか～」



新潟中央短期
大学学長
石本勝見さん

社会的弱者への虐待防止については児童・障がい者・高齢者を対象に三つの法律があり、防止と支援を目的としています。虐待行為には、身体的、心理的、性的、ネグレクト（無視・育児監護放棄）、経済的なものがあります。虐待とは弱者を不快・傷を負わせることで、対応する側は、市町村役場や相談所、警察、病院などがあり、そこで状況と周囲の環境を明確にし、双方・関係者に理解させていくことから始まります。

第6回「歴史から現代の経済情勢を考える－経済史の研究方法をふまえての現状分析－」



新潟経営大学教授
吉田一郎さん

地域経済は世界的な経済状況に動かされています。そんな中でイギリスのEU離脱や中国経済の動向が注目されており、地域から国際的な視点で考えることが必要になってきました。世界的経済と地域経済では、地域経済の方が規模が大きく、その中心はサービス業です。サービス業はその地域内で消費されるので、継続されるサービスの提供は地域活性化へと結びつきます。



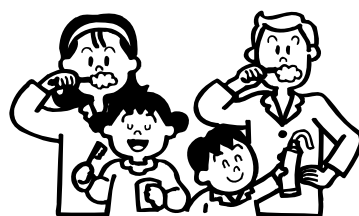
■セルフケアの基本は歯磨きです。プラークを確実に取り除きましょう。

むし歯も歯周病も、その主な原因となるのはプラークです。このプラークが、毎日の歯磨きでしっかり除去できているかどうかのポイントです。二次う蝕の発生を防ぐためには、つめた物のまわりや、かぶせた冠のまわりをていねいに磨くこと。

また根面う蝕を防ぐためには、歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの毛先をしっかりと当てて磨くことが大切です。歯磨剤は、フッ化物（フッ素）配合のものが市販されています。フッ素イオンが歯の再石灰化を促進してくれるので歯の根元のむし歯予防にも有効です。

歳をとって歯ぐきが下がると、歯と歯の間にすき間ができてきます。このすき間にプラークがたまりやすくなるのです。

「大人の歯のケア」②



歯と歯の間は歯ブラシの毛先が届きにくいので、歯間ブラシの使用をおすすめします。歯間ブラシの入りない狭いすき間には、デンタルフロスを使いましょう。

ところで、むし歯や歯周病の原因菌は、夜の就寝時に増殖することをご存知ですか？寝ている間は唾液の分泌が減少するため、口の中の細菌が増えやすい状態にあるわけです。そこで効果的なのが食後の歯磨き、お休み前のデンタルリンスです。

デンタルリンスの中には、プラークの増殖を抑えてむし歯を防ぐものや、殺菌成分が歯周ポケットの中まで浸透して、歯周病菌の巣を殺菌してくれるものがあります。こうし



たさまざまなデンタル用品を組み合わせて使えば、セルフケアはいっそう充実したものになります。

それを正しく確実に実行するためには、歯科医院でのプロフェッショナルケアが欠かせません。

■プロフェッショナルケアでセルフケアをより確かなものに。

ちゃんと歯磨きしているつもりでも、実際にはできていない場合があります。歯磨きして歯科医院へ行ったら「プラークがいっぱい残って

た」：ということがありませんでしたか？

お口の状態は十人十色。正しいブラッシング方法、清掃道具の選び方、使い方などは、かかりつけの歯科医院で相談することをおすすめします。セルフケアと、歯科医師によるプロフェッショナルケア。このふたつは、健康なお口を守る両輪です。

セルフケアのスタートは、まず自分のお口の状態を知ることから。そのためにも、年に二〜三回は歯科医院で定期的に健診を受けましょう。

（加茂市歯科医師会）

歯っぴいスマイル加茂

（無料歯科健診・相談）

六月五日、市役所市民ロビーで加茂市歯科医師会と歯科衛生士の協力により、歯科健診、フッ素塗布、歯科相談がありました。歯と食べ物・健康を保険推進員OB会による演劇や、加茂レンジャーが歯磨きを忘れないようにと子どもたちにPRしました。

カメラ スケッチ



全国松坂・小唄日本一大会（6月5日）

県内はもとより福島県や長野県から八部門のコンクールに八十四名が出場し、各地で歌い継がれてきた松坂や小唄、民謡が唄われました。新潟県内の松坂では、新津松坂、頸城松坂が、小唄では十日町小唄、新長岡小唄などでの出場がありました。



小学校団体鑑賞（6月8日）

今年のテーマは「オーケストラであそぼ！」。上学年、下学年で少し曲目を変えての演奏でした。指揮者が弦・木管・金管・打楽器、ピアノでそれぞれ特徴的な曲を演奏して紹介すると、児童から「知ってる」と答えが返ってきました。途中、オーケストラの演奏で歌う、参加コーナーでは、楽器の音に負けないような声が文化会館大ホールに響きました。



加茂川一斉清掃（6月5日）

朝六時から、石川公園から駒岡・勤労者体育センターまでの加茂川河川敷の清掃に約二千人から参加していただきました。集められたのは、ほとんどが雑草で、生活ごみなどはわずかでした。普段から憩いの場として大勢の市民から大切に利用されているということでしょうか。

加茂郷普通水利組合の成立

（加茂郷近代の治水(1)）

加茂川・下条川・信濃川に三方を囲まれた加茂郷は、中央が最も低い湛水地で、郷内の水は、加茂新田にある二か所の排水口から、加茂川に自然に抜け出るのを待つだけだった。

明治二十二年（一八八九）四月、「町村制」施行で加茂郷は加茂町・下条村・加新村の三町村に編制された。同二十九・三十年、

県内は二年連続で大洪水に襲われ、加茂郷では三十年の北越鉄道（現在の信越線）開通で、線路敷設のための盛り土が行われ、加茂川と下条川には鉄橋が架けられるなど、水の流下に新たな困難が生じていたことから、「水利組合」組織の気運が高まった。

三十年五月、加茂町長古川保吉と加新村長金子貞三郎の連名で、「加茂郷普通水利組合」設置申請が県知事に提出された。区域は、加新村

大字加茂新田、加茂町の大字加茂と大字矢立新田、下条村の大字天神林と大字下条の五地区計五百三十二町歩（当初案は六百八十八町歩）と広大だった。五か大字の耕地は、一帯の堤防に包囲されて利害を共にしているのだが、下条村は藩領が違い、加茂郷の治水仲間ではなかったとして、加わろうと

しないと述べている。下条村は下条川左岸部にも耕地があり、藩領が同じだった保内・井栗地域（現三条市）と一緒に治水取り組みをしており、新たに下条川右岸部での組合に入ると負担が増加するとして、参加反対論が強かったのである。

下条側の参加反対はその後とも変わらなかったが、翌年十二月二十八日、知事は五大字を区域と「仮定」して「加茂郷普通水利組合」の設置を認め、涌井三郎下条村長を含む三町村長を創設委員に任命した。その後の下条村側との交渉で、天神林地区が求める新しい江筋の実現に努力する、など三か条の契約書がまとまり、三十二年三月二十五日、三町村長は調印した。五月十二日「加新村・加茂町・下条村三郷悪水排除一切ニ関スル事業」を目的に掲げた「加茂郷普通水利組合規約」が県知事に提出され、七月八日付で認可された。古川保吉加茂町長が組合管理者に指定された。加茂郷の関係全地区を網羅した水利組合の、難産の末の誕生である。

（溝口敏麿）

みりごとく

社会福祉費寄付金

▼全国松坂・小唄日本一大会実行委員会から二万四千六百九十一円

▼株式会社サンゴマートから二万九千三百八十六円

ふるさと寄付金

▼長谷川恒子さん（茨城県石岡市）から 五千元

ゆきつばき荘へ

▼加茂卓球（ラージボール）の会から 卓球台2台

加茂の風土記



平成23年7月29日の大雨で増水した信濃川と加茂郷
（写真協力：中日本航空(株)・農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所）

人口のうごき

6月1日現在
世帯 10,315 (+11)
人口 28,462 (-32)
男 13,806 (-21)
女 14,656 (-11)
()内は前月比
(5月異動分)
出生 6 (男3女3)
死亡 37 (男23女14)
転出 30 転入 29